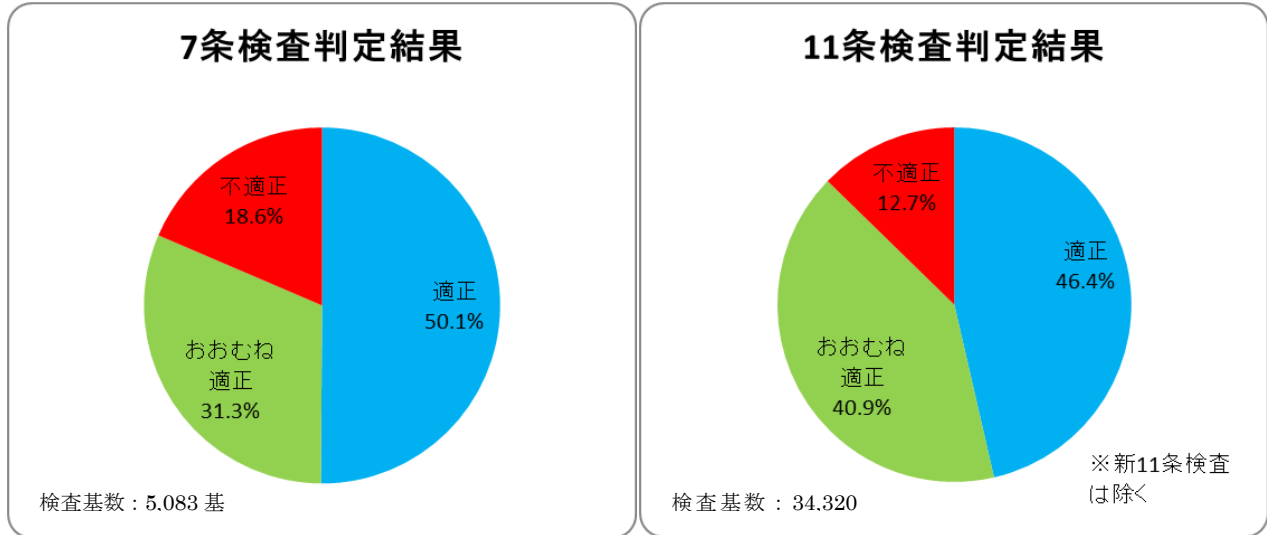


法定検査結果

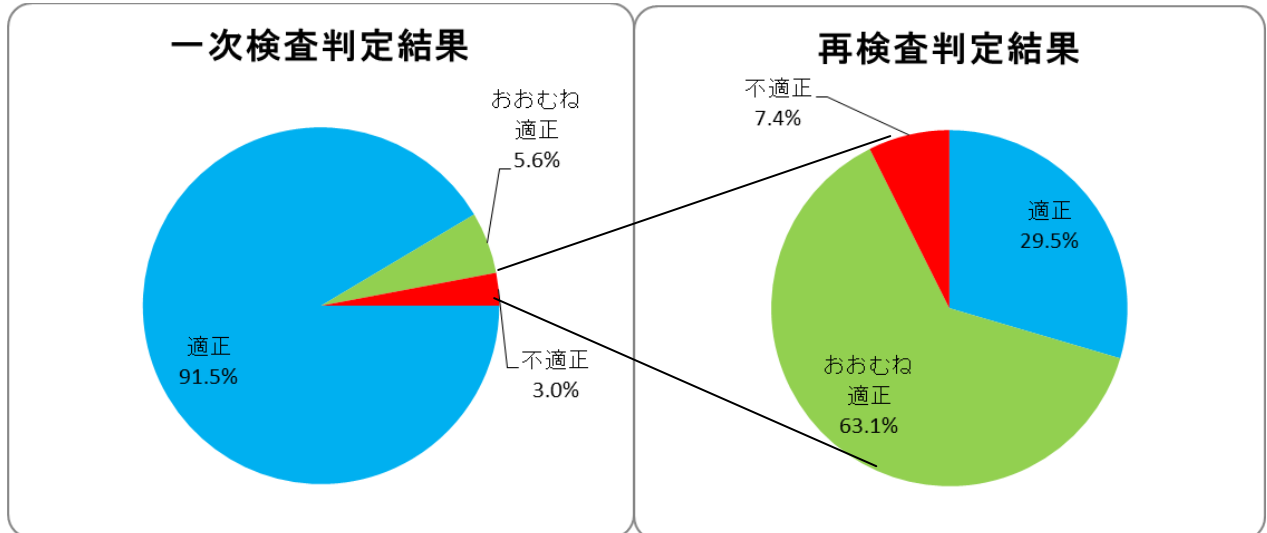
25年度法定検査を実施した結果は次のとおりです。

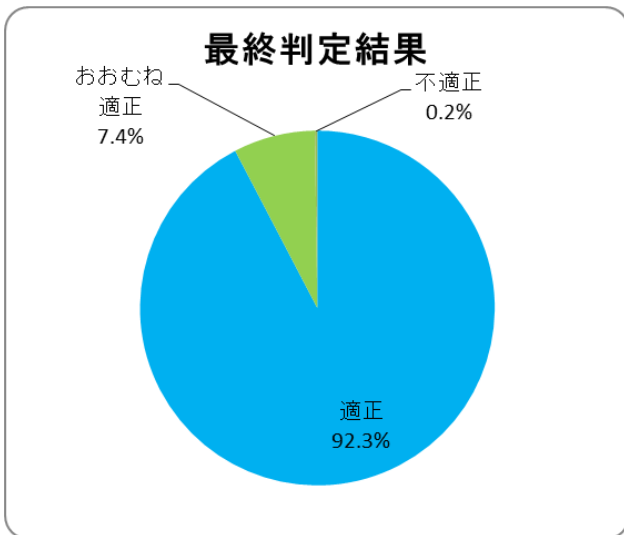
1. 7条及び11条検査判定結果



24年度と比較し、7条検査の不適正率は0.4ポイント上昇し、2年連続で微増となっています。県北地域の不適正率の上昇が全体を押し上げる結果となっています。その要因として、BODの処理目標水質オーバーが多く見られました。11条検査については、0.1ポイント減少しました。これは、メンテナンスステップアップフォロー事業（掘り起こし事業）により申し込みを受け実施した浄化槽の不適正率が高いため、全体の不適正率の減少幅を抑えた形になっています。その要因として、継続11条検査より保守点検実施率が低いことがあげられます。

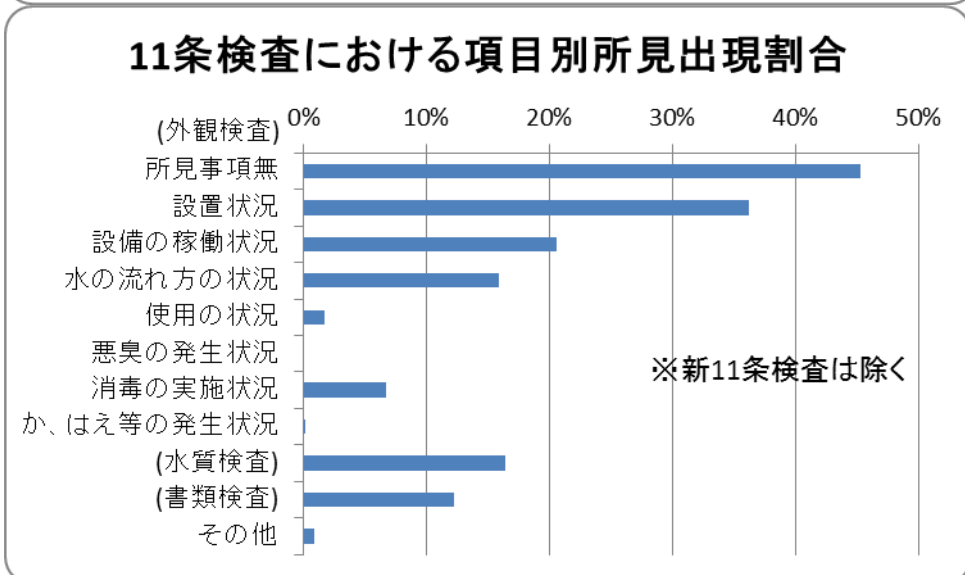
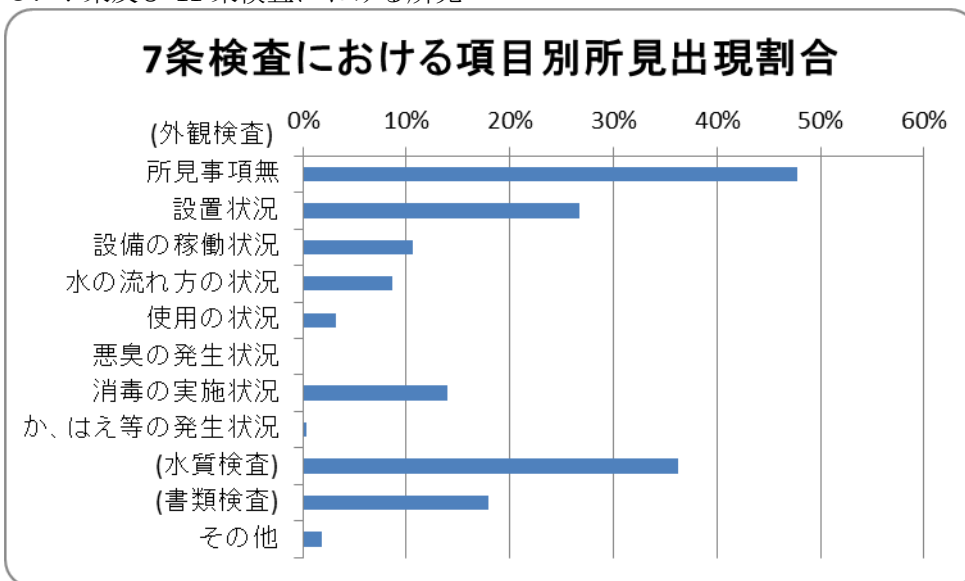
2. 新11条検査判定結果（検査基数：37,512基）





一次検査の不適正率は、24年度と比較し0.3ポイント減少しました。新11条検査方式が開始された翌年度の平成16年度から引き続き減少傾向が続いています。再検査を実施した後の最終判定結果では不適正率が0.2%と24年度と同じ結果となっています。不適正の主な要因は、清掃時期、内部設備の固定状況、使用の状況の問題となっています。

3. 7条及び11条検査における所見



7条検査において、外観検査項目では例年と同じ設置状況、消毒の実施状況項目の所見が多く見られ、その割合も24年度とほぼ同じとなっています。

水質検査項目では、BOD(18.8%)、透視度(14.7%)の順に基準値オーバーの浄化槽がありました。この割合は24年度とほぼ同じです。(BOD分析結果の詳細は、「4. 7条及び新11条検査におけるBOD分析結果(合併処理浄化槽のみ)」を参照してください。)

書類検査では、保守点検の実施の有無に関する所見(16.2%)がほとんどです。この割合は、24年度と比較し0.9ポイント増加しています。

11条検査において、外観検査では設置状況、設備の稼働状況、水の流れ方の状況の順に多く、これまでの傾向と変化はありませんでした。ただし、7条検査と比較し設置状況に関する所見が多く見られます。設置状況については、継続して行っているメンテナンスステップアップフォロー事業で掘り起こした古い浄化槽があるので、24年度と同じに高い割合となっています。設備の稼働状況の所見では、送風機やポンプの稼働状況に関する所見が半分以上占めています。水の流れ方の状況の所見では、各単位装置間の水位及び水流の状況に関する所見が約40%以上を占め、一番多くなっています。

水質検査では、透視度に関する所見が一番多く24年度とほぼ同じ9.4%となっています。

書類検査では、7条検査と同じく保守点検の実施の有無に関する所見(8.6%)がほとんどで、24年度よりは0.7ポイント上昇しています。メンテナンスステップアップフォロー事業で掘り起こした浄化槽の保守点検実施率が低いのが、所見の出現割合を引き上げている要因になっています。

4. 7条及び新11条検査におけるBOD分析結果(合併処理浄化槽のみ)

BODの範囲 (mg/l)	検査種別					
	7条検査				新11条検査	
	50人槽以下	割合%	51人槽以上	割合%	10人槽以下	割合%
$x \leq 5$	2,046	40.8	27	42.2	16,079	45.8
$5 < x \leq 10$	1,143	22.8	14	21.9	9,289	26.4
$10 < x \leq 15$	618	12.3	8	12.5	4,584	13.1
$15 < x \leq 20$	268	5.3	5	7.8	2,063	5.9
$20 < x \leq 30$	416	8.3	5	7.8	2,055	5.9
$30 < x \leq 40$	159	3.2		0.0	568	1.6
$40 < x \leq 50$	101	2.0	1	1.6	222	0.6
$50 < x \leq 60$	38	0.8		0.0	88	0.3
$60 < x \leq 90$	107	2.1	2	3.1	135	0.4
$90 < x \leq 120$	44	0.9		0.0	23	0.1
$120 < x \leq 160$	42	0.8		0.0	12	0.0
$160 < x$	37	0.7	2	3.1	8	0.0

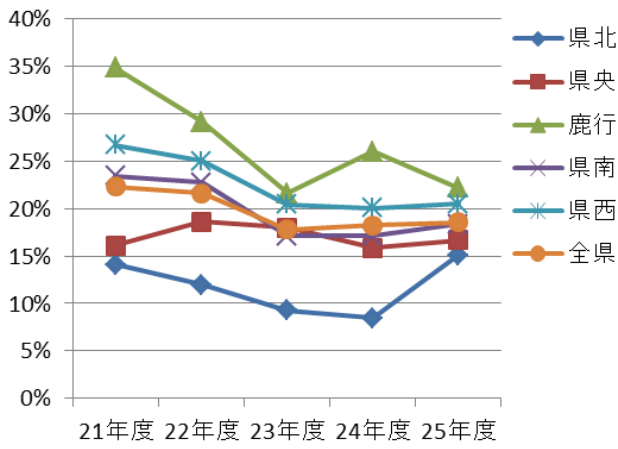
※1 浄化槽法による放流水質の技術上の基準は、20 mg/l 以下であることとなっています。

※2 7条検査においては、60 mg/l 超の場合、それをもって判定が不適正となります。

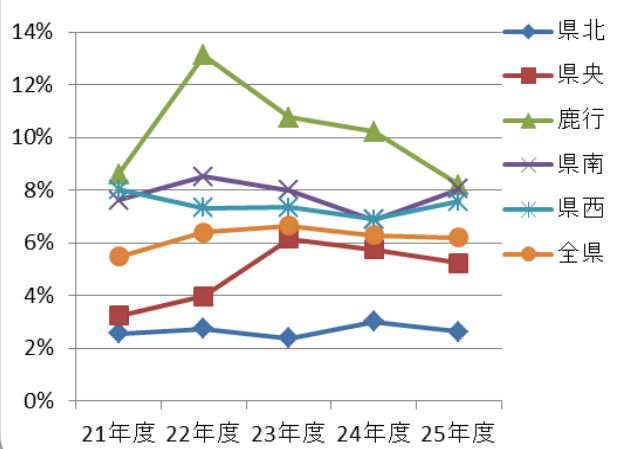
※3 新11条検査においては、30 mg/l 超の場合、再検査の対象となります。

5. 不適正率の推移

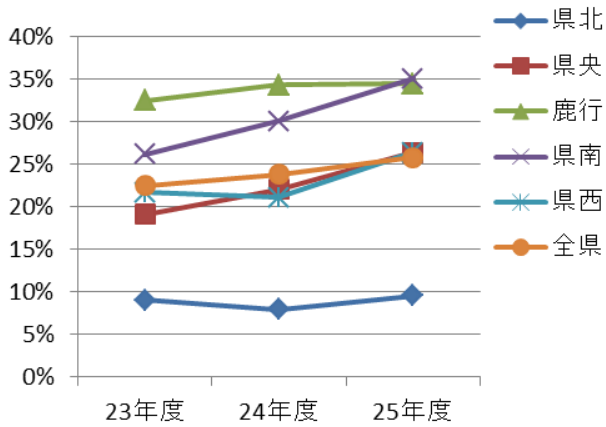
7条検査における不適正率の推移



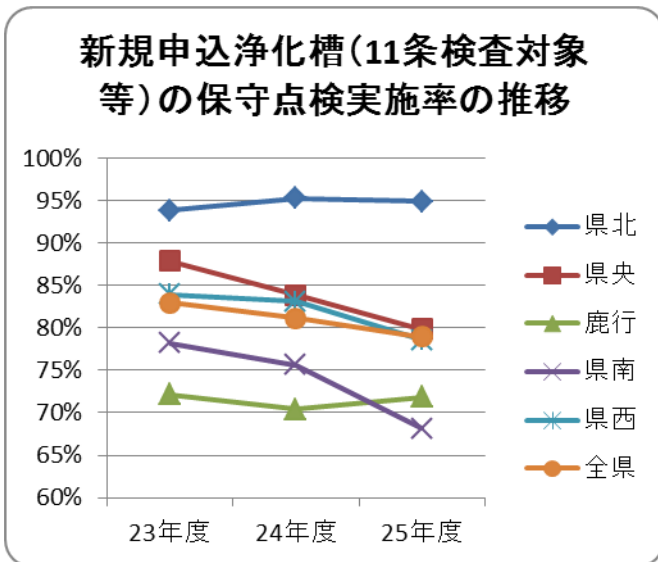
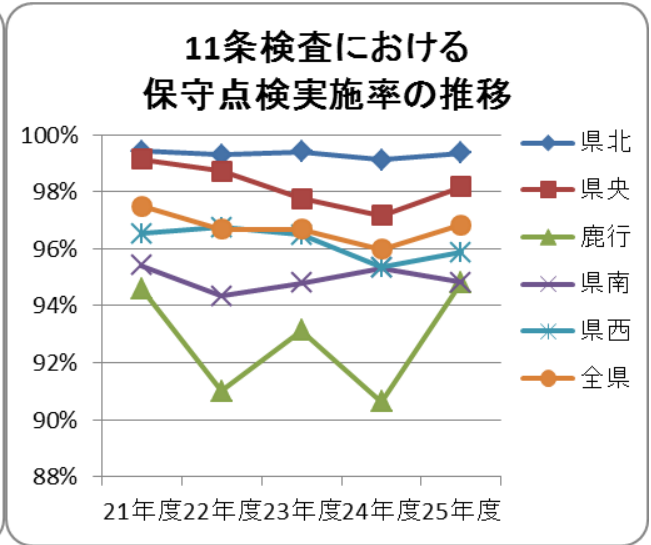
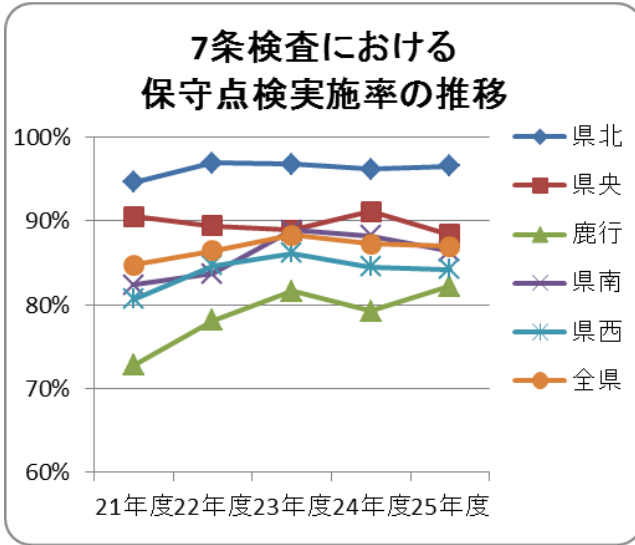
11条検査における不適正率の推移



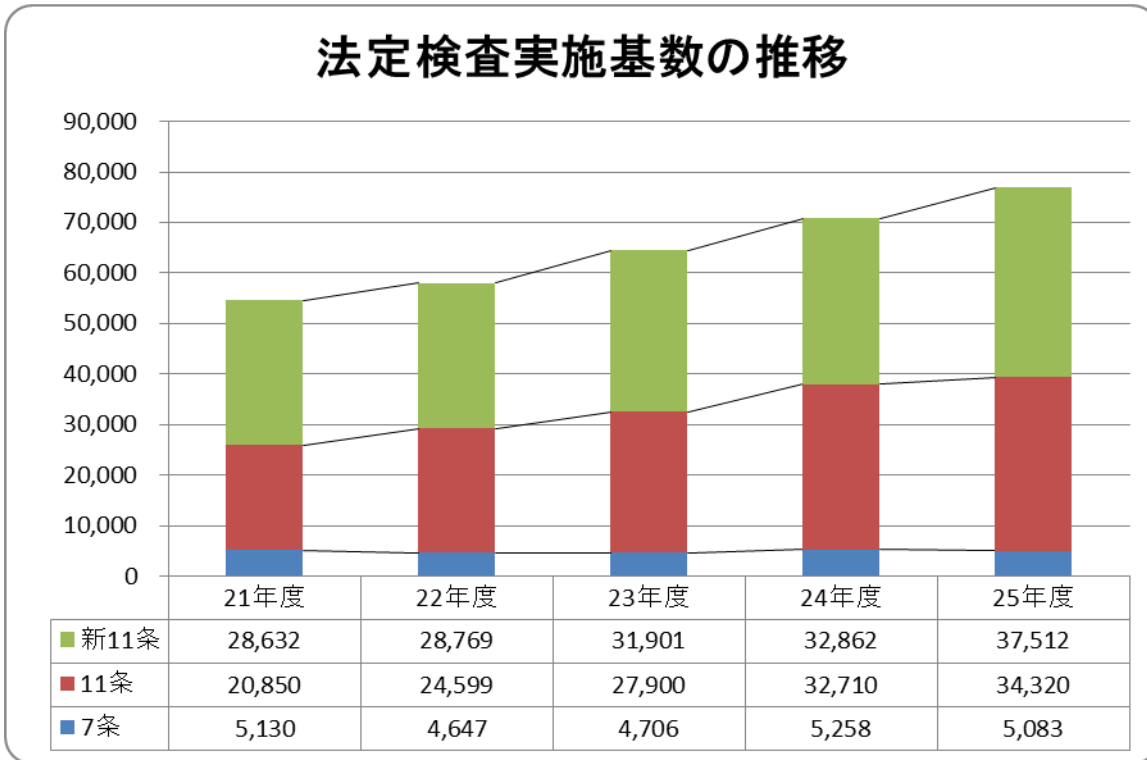
新規申込浄化槽(11条検査対象等)の不適正率の推移



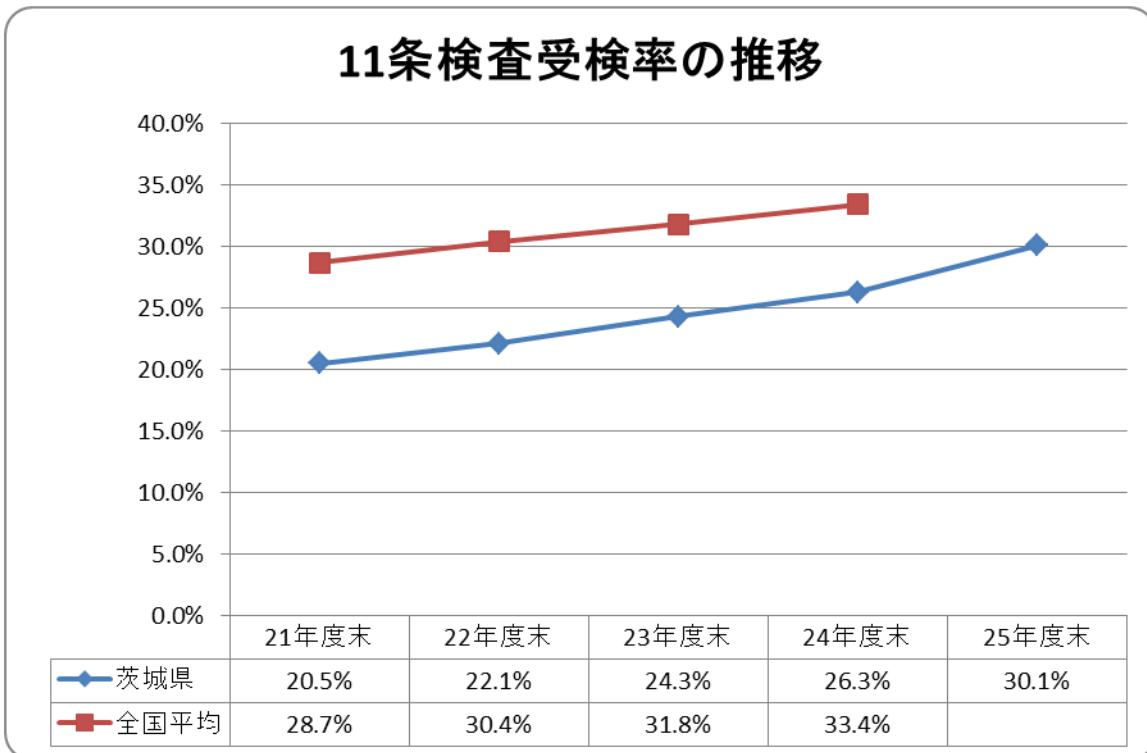
6. 保守点検実施率の推移



7. 法定検査実施基数の推移



8. 11条検査受検率の推移



※平成 25 年度末全国平均は未確定（平成 26 年 7 月 8 日現在）